

平成31年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査 (専門教養)

高等学校 書道

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙 (ワークシート) は2枚あります。切り離さないでください。

- 3 解答用紙 (ワークシート) は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。

- 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にワークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名, 受審する教科・科目, 受審種別, 受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をワークしてください。

受 審 番 号

万	千	百	十	一
1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
0 ●	1 ○	0 ○	1 ○	0 ○
2 ○	0 ○	1 ○	2 ○	1 ○
3 ○	3 ○	2 ○	3 ○	2 ○
4 ○	4 ○	3 ○	4 ○	3 ○
5 ○	5 ○	4 ○	5 ○	4 ○

記入例

(受審番号12345の場合)

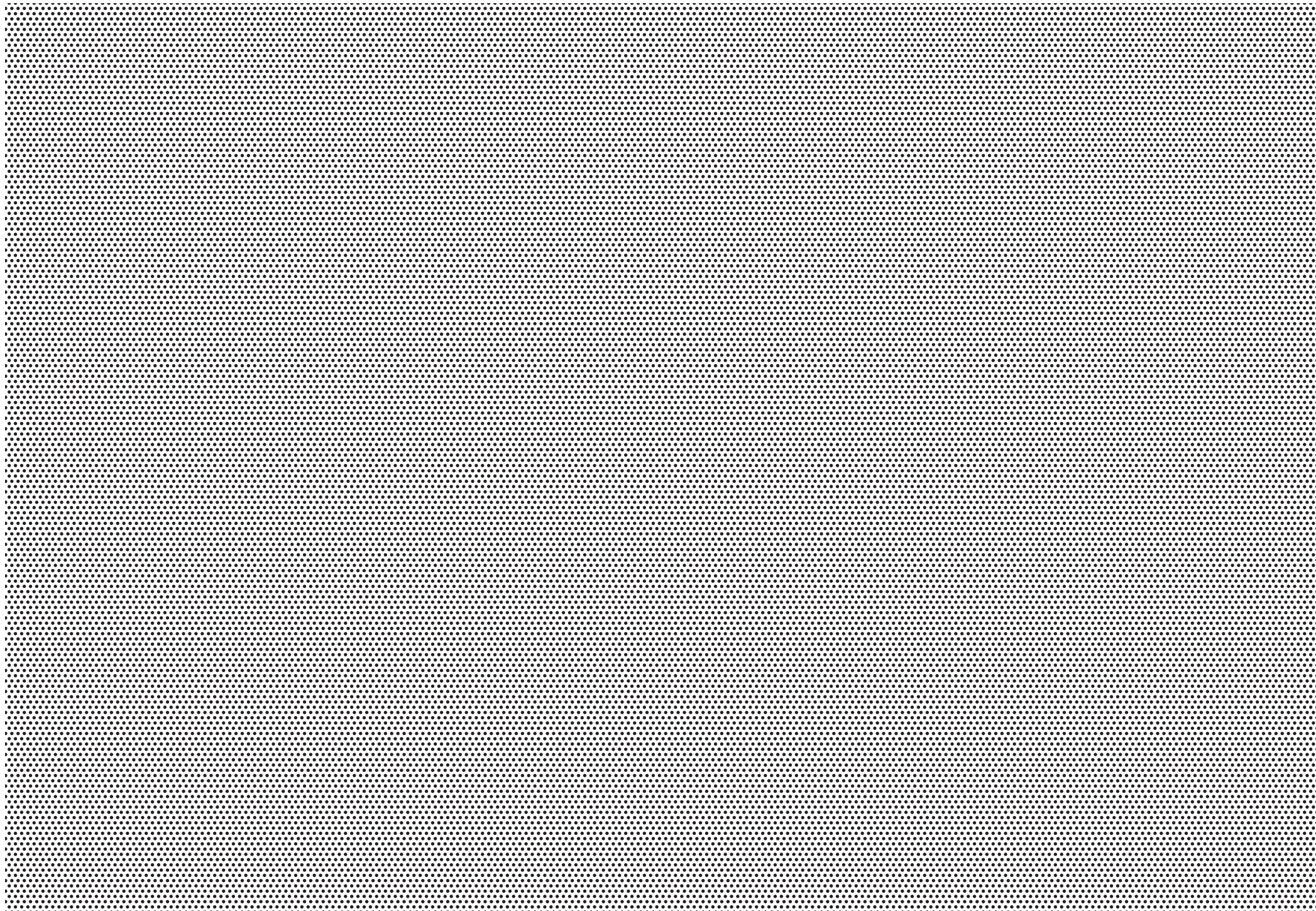
- 4 解答は、解答用紙 (ワークシート) の解答欄の記号をワークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の (例) のように **アの解答欄の b** をワークしてください。

(例)

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	+
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答記号に対しては、解答欄の記号を二つ以上ワークしないでください。

- 5 筆記審査 (専門教養) が終了した後、解答用紙 (ワークシート) のみ回収します。受審者は、審査室内のすべての解答用紙 (ワークシート) が回収された後、監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

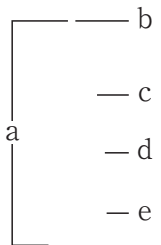
(1) 次の図版が示す執筆法の名称として適切なものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

図版

- a 双鉤法
- b 廻腕法
- c 握管法
- d 単鉤法
- e 俯仰法

(2) 「穂先」を表すものとして適切なものを、次の図版のa～eの中から一つ選びなさい。

図版



(3) 次の①～④の説明文が示す用語として適切なものを、それぞれあとのa～eの中から一つ選びなさい。

① 日本風の書に対して、中国風の書のことをいい、一般的には、江戸時代に流行した宋・元・明時代の書風のこと。

- a 唐様
- b 御家流
- c 碑学派
- d 菱湖流
- e 定家様

② 皇帝や祖先の名と同一の文字を用いることを避けるために行われる方法。

- a 実画
- b 借字
- c 闕画
- d 籠字
- e 虚画

③ 書の学習や鑑賞のための拓本を帖冊に仕立てた法帖のうち、特定の個人作品を集めたもの。

- a 集帖
- b 単帖
- c 叢帖
- d 専帖
- e 短冊

④ 筆画の途中で意図的に筆を紙から離すこと。 力

- a 断筆 b 拙筆 c 接筆 d 節筆 e 真筆

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅰ」の「目標」を示したものである。あとの問いに答えなさい。

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する ① を育てるとともに、 ② を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、 ③ の理解を深める。

I ①、 ② に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 キ

- | | | |
|---|------|-------|
| a | ① 意欲 | ② 感性 |
| b | ① 態度 | ② 個性 |
| c | ① 信条 | ② 感受性 |
| d | ① 心情 | ② 感性 |
| e | ① 意識 | ② 個性 |

II ③ ク に当てはまる語句を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- | | |
|---|-------------|
| a | 書の伝統と文化について |
| b | 書の伝統と発展について |
| c | 書の表現と鑑賞について |
| d | 書の発展と文化について |
| e | 書の文化と伝承について |

(2) 次の文は、平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅰ」の「内容」のうち「A 表現 (3) 仮名の書」を示したものである。④、
 ⑤に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、あとのa～eの中か
 ら一つ選びなさい。ケ

ア 用具・用材の特徴を理解し、適切に扱うこと。
 イ 古典に基づく基本的な線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得する
 こと。

ウ 単体、④の技法を習得し、全体の構成を工夫すること。

エ ⑤表現を構想し、工夫すること。

- a ④ 筆脈 ⑤ 構想に基づく
- b ④ 連綿 ⑤ 意図に基づく
- c ④ 連続 ⑤ 意図に基づく
- d ④ 連綿 ⑤ 着想に基づく
- e ④ 連続 ⑤ 発想に基づく

(3) 次の文は、平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅰ」の「内容」のうち「B 鑑賞」を示したものである。⑥
 あとのa～eの中から一つ選びなさい。コ ⑥に当てはまる語を、

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

- ア 日常生活における書への関心を高め、その⑥を理解すること。
- イ 見ることを楽しみ、書の美しさと表現効果を味わい、感じ取ること。
- ウ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解すること。
- エ 漢字の書体の変遷、仮名の成立等を理解すること。

- a 作用
- b 効力
- c 効果
- d 効用
- e 効能

第2問

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の図版の古典名を、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

ア

図版

- a 乙瑛碑
- b 孔宙碑
- c 曹全碑
- d 張遷碑
- e 史晨碑

(2) 次の図版の古典の作者名を、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

イ

図版

- a 褚遂良
- b 虞世南
- c 歐陽詢
- d 楊凝式
- e 賀知章

(3) 次の図版の古典の作者名を、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

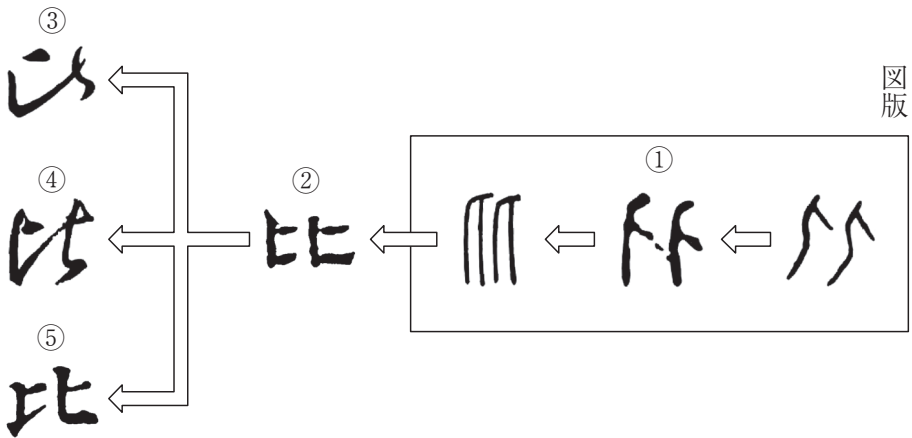
図版

- a 藤原定家
- b 藤原行成
- c 小野道風
- d 嵯峨天皇
- e 藤原佐理

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の図版は、書体の変遷の基本的な流れを図式化したものである。①～⑤にはそれぞれの書体名が入る。該当する書体名の組み合わせが正しいものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

工



e	d	c	b	a
①	①	①	①	①
篆書	草書	篆書	草書	篆書
②	②	②	②	②
隷書	行書	楷書	篆書	隷書
③	③	③	③	③
草書	隷書	隷書	隷書	草書
④	④	④	④	④
行書	楷書	草書	楷書	楷書
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
楷書	篆書	行書	行書	行書

(2) 書道史における活躍年代の古い順に人物を並べたものとして正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

才

- a 鍾繇→王鐸→懷素→鄭道昭
- b 王鐸→鍾繇→鄭道昭→懷素
- c 鍾繇→鄭道昭→懷素→王鐸
- d 王鐸→鍾繇→懷素→鄭道昭
- e 鍾繇→懷素→鄭道昭→王鐸

3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の図版の古典名を、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

カ

図版

- a 喪乱帖
- b 集王聖教序
- c 中秋帖
- d 雁塔聖教序
- e 樂毅論

(2) 次の文の ①・② に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

キ

「書聖」といわれた人物の書を至上の芸術であると絶賛した唐の太宗は、勅命を出し、その書を集めます。その結果数多くの書を集めることができましたが、最も評判が高い ① の行方がわかりませんでした。それは、流觴曲水の宴を催した折に、参加者が作った詩を一卷にまとめた際の序文です。八方手を尽くして所蔵先を折き止め、奇策によって手に入れます。そして模本を作らせ、 ② は自分の墓に埋葬させたとされています。

この「書聖」の書の臨書による複製品の ② も、清の乾隆帝が王珣や王献之の書とともに愛蔵したことが知られています。

- a ① 十七帖 ② 晋祠銘
- b ① 平安帖 ② 地黄湯帖
- c ① 蘭亭序 ② 快雪時晴帖
- d ① 奉橘帖 ② 平復帖
- e ① 蘭亭序 ② 地黄湯帖

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、隸書の特徴を示したものである。文中の□①□と□③□に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

ク

隸書は、中国の秦の時代に、篆書の複雑な点画を簡略化し、直線を主体とした実用書体として登場しました。次の漢の時代には普及、発展して標準書体となり、波勢や波磔が見られる□①□とよばれる典型的な隸書が生まれました。隸書の点画や用筆の特徴として、横画は水平、字形は□②□、起筆は逆筆、藏鋒、運筆は□③□、といった点をあげることができます。

- | | | | |
|---|------|------|------|
| a | ① 古隸 | ② 扁平 | ③ 中鋒 |
| b | ① 八分 | ② 扁平 | ③ 露鋒 |
| c | ① 古隸 | ② 扁平 | ③ 露鋒 |
| d | ① 八分 | ② 扁平 | ③ 中鋒 |
| e | ① 八分 | ② 縦長 | ③ 中鋒 |

(2) 行書の特徴として適切ではないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ケ

- | | |
|---|---------------------|
| a | 速く書くことができ、しかも読みやすい。 |
| b | 芸術的な表現には重宝なものである。 |
| c | 筆順は、必ず楷書と同じである。 |
| d | 楷書や草書に近いものがあり幅広い。 |
| e | 筆路が明確で、流れが生じる。 |

5 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

日本を代表する平安時代の行書の名手は三筆と三跡(蹟)です。三筆のうち、僧侶であった□A□は、遣唐使船で唐に渡り、帰国後開山しました。

(1) □A□の人物について誤っているものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

い。

□A□

□コ□

- | | |
|---|-----------------------|
| a | 近江の国に生まれた。 |
| b | 唐では真言密教を修めた。 |
| c | 顔真卿の書にも影響をうけた。 |
| d | 最澄に宛てて書いた尺牘が国宝となっている。 |
| e | 金剛峯寺を開いた。 |

(2) の人物の作品ではないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- a 忽披帖
- b 三十帖冊子
- c 灌頂歴名
- d 忽恵帖
- e 空海請来目錄

6 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 「北宋の三大家」に関する説明ではないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

い。

- a 真草の名手で、楷書と草書を並列に書いた千字文は有名である。
- b 行書と草書に優れ、独特の書風を作り上げ、後世にも影響を与えた。
- c 二王の書をよく学び、精妙を極めたことから二王の再来と称せられた。
- d 流瀆された地で詠んだ二首の歌を書いた作品は、有名である。
- e 横画、縦画、右払いを長く書いた、松林にある「松風閣」と名づけて作った詩を書いた作品は筆意が行き届いたものとなっている。

(2) 「北宋の三大家」の作品でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- a 蜀素帖
- b 黄州寒食詩卷跋
- c 黄州寒食詩卷
- d 孔侍中帖
- e 伏波神祠詩卷

第3問

1 次の図版Aは「関戸本古今和歌集」・図版Bは「寸松庵色紙」からの引用である。図版A・Bから抜き出した文字の字源を、それぞれあとのa～eの中から一つずつ選びなさい。

図版 A

ア

- a 之
- b 早
- c 左
- d 佐
- e 差

イ

- a 幾
- b 希
- c 器
- d 来
- e 喜

図版B

工

a
琶
b
盤
c
蛮
d
者
e
春

ウ

a
赤
b
示
c
処
d
素
e
所

2 次の仮名の成り立ちについて述べた文を読み、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

文字を持たなかった私たち日本人の祖先は、中国から漢字が伝わると、漢字の音を借りて言葉を書き記すことを始めました。これが仮名の起こりです。

漢字一字に一音を当てて表記するこの文字は漢字が ① と呼ばれたのに対し、仮の字という意味から仮名と呼ばれました。この仮名は後に ② 万葉仮名とも呼ばれました。

平安時代に入ると、次第に ③ 草仮名で書かれるようになり、更に簡略化が進み、平安時代中期には、字源の姿がわからないほどに略された優美な姿を持つ ④ と名づけられた仮名が生まれ、日本独特の芸術にまで高められるようになりました。

(1) ① と ④ に該当する語の組み合わせとして適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ④ オ

- | | | |
|---|------|------|
| a | ① 真名 | ④ 女手 |
| b | ① 葦手 | ④ 女手 |
| c | ① 真名 | ④ 男手 |
| d | ① 真名 | ④ 葦手 |
| e | ① 葦手 | ④ 真名 |

(2) 傍線部②の説明として当てはまらないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

② カ

- a 漢字の楷書や行書が用いられている。
- b 奈良時代に成立した歴史書にその名の由来がある。
- c 正倉院が所蔵する文書では音仮名・訓仮名が混用されている。
- d 色々な漢字が用いられたので一千字近くの数がある。
- e 釈迦の足跡を礼賛する歌碑にも見られる。

(3) 傍線部③の書の代表的な作品を、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ③ キ

- a 久隔帖
- b 針切
- c 杜家立成雑書要略
- d 中務集
- e 秋萩帖

3 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

古今和歌集は二十巻からなり、多くの写本があります。このうち現存する最古の写本は、安土桃山時代以降に分割され、巻九の巻頭の断簡が伝わった地名から「高野切」と呼ばれています。二十巻のうち、「高野切」として、九つの巻が現存していますが、完備した形で伝わっているのは、^①三つの巻です。

「高野切」の筆者は と伝えられてきましたが、三人の能書家によって書かれたことが分かっています。

(1) 傍線部①のうち、高知県に所蔵されているものとして正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

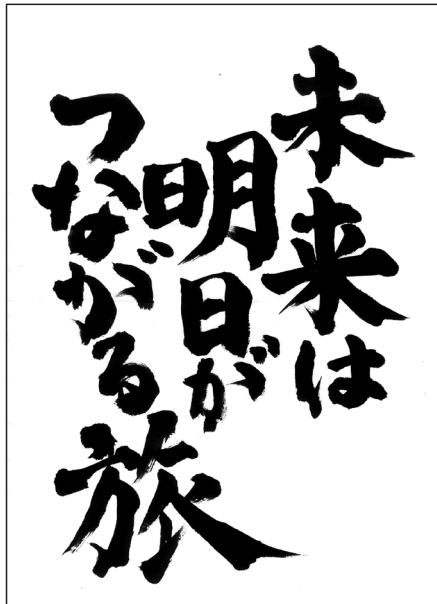
- a 巻五 b 巻八 c 巻十八 d 巻十九 e 巻二十

(2) 文中の に当てはまるものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- a 醍醐天皇 b 藤原定家 c 紀友則 d 紀貫之 e 壬生忠岑

1 次の図版A・Bは、古典を生かした漢字仮名交じりの書の創作作品である。作品の意図を表した文を読み、参考とした古典作品名として適切なものを、それぞれあとのa～eの中から一つずつ選びなさい。

図版A



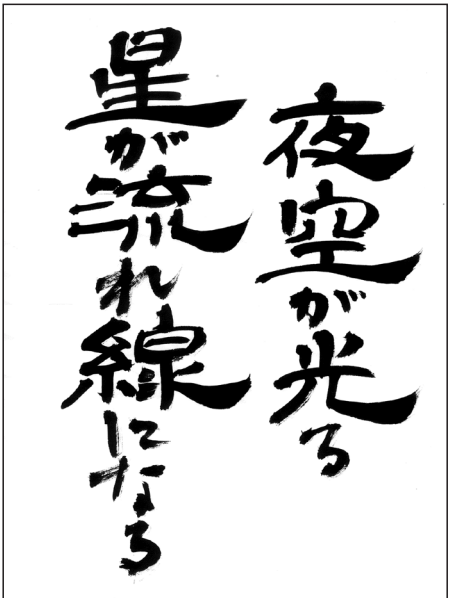
作品の意図

向勢の字形と、はね、払いの筆使いに注意し、堂々と迫力のある線質を意識しどっしりとした表現を試みた。

ア

- a 顔氏家廟碑
- b 皇甫誕碑
- c 温泉銘
- d 李嶠詩雜詠
- e 洛神賦十三行

図版B



作品の意図

緩急のある運筆を生かし仮名を小さくして、流れが単調にならないよう、波礫のある漢字をバランスよく配置するように試みた。

イ

- a 爨宝子碑
- b 論経書詩
- c 大孟鼎
- d 枯樹賦
- e 居延漢簡

2 次の文は、書作品と著作権について述べたものである。あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

著作物とは人間の思想や感情を創作的に表現したものをいい、著作者とはそれを創作した人のことをいいます。著作権とは、知的財産権の一つで著作者（作者）以外の人がその著作物を利用しようとするときに、利用を認めたり、禁止したりできる権利です。わが国では、①で自動的に権利が発生し、著作者の死後②年まで原則的に保護されます。

創造的に表現された書の作品や詩文や和歌や俳句などの作品には原則として著作権があるので、他人の書の作品のコピーを作成する場合や、他人の詩文や和歌や俳句などの作品を素材として、書で表現する場合には、原則として著作権をもつ者の了解が必要です。著作権にはその他にもルールがあることを知ったうえで、作品を制作する必要があります。

(1) ①に当てはまる語として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- ウ
- a 著作物を売買した時点
 - b 著作物を公表した時点
 - c 著作物を登録した時点
 - d 著作物を創作した時点
 - e 著作権を主張した時点

(2) ②に当てはまる適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。 エ

- a 三〇
- b 四〇
- c 五〇
- d 六〇
- e 七〇

3 次の文は平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅰ」の「A 表現 (1) 漢字仮名交じりの書」「エ 名筆を生かした表現を理解し、工夫すること。」の解説の一部を示したものである。 オ カに当てはまる語句として適切なものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

取り上げる名筆としては、漢字の書や仮名の書に加え、漢字と仮名の調和した表現を見ることができる古典として、例えば、『オ』や『和漢朗詠集』等の平安時代の書写本、鎌倉時代以降の墨跡やカ等の表現、明治時代以降の文士や文人、志士の多様な書風などがあげられる。これらに触れることで名筆のよさや美しさを理解し、漢字仮名交じりの書の多様な表現にいかしていくこともできる。

オ a 雑集 b 風土記 c 賢愚経 d 万葉集 e 懐風藻

カ a 尺牘 b 簡牘 c 宸翰 d 宸襟 e 書状

第5問

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、篆刻の作成方法を①～⑫の順に示したものである。この手順を読み、あとのⅠ・Ⅱの問いに答えなさい。

- ① 用具等を準備する。
- ② 刻^はりたい語句を決め、字形を調べる。
- ③ 刻り方を決め、朱と墨で、印稿を作る。
- ④ 印面を平らにする。
- ⑤
- ⑥ 印稿をもとに、印面に書きいれる。
- ⑦ 「引き刀」または「押し刀」で刻す。
- ⑧
- ⑨ 印泥をつけて押印する。
- ⑩ 刻り方の不十分な箇所があれば補修し、不要な刻り残しがあれば除去する。
- ⑪ 印箋に押印する。完成。
- ⑫ 後片づけをする。

Ⅰ 右の手順のうち、・にあてはまる作業の組み合わせとして正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|---|------------|---|-----------|
| a | A | 印面の角をとる。 | B | 印面に墨を塗る。 |
| b | A | 印面に墨を塗る。 | B | 印面の角をとる。 |
| c | A | 印面を洗う。 | B | 印面の辺縁を削る。 |
| d | A | 印面に墨を塗る。 | B | 印面を洗う。 |
| e | A | 印面に印泥をつける。 | B | 印面の辺縁を削る。 |

II 篆刻についての説明として正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

イ

- a 仕上がりをよくするため、印稿より線を細めに印面に布字をする。
- b 刻る時は、まず刃先を石にあって、石が欠けないよう慎重に刻る。
- c 印泥がよくつくよう、彫り終わったら印面の石紛を落とすために軽くやすりをかける。
- d 印箋には、天地があり枠の上部が広く空いている方が天（上）である。
- e 「朱文」は、線の右側を「引き刀」で軽く刻り、その同じ箇所を「押し刀」で深く刻る。

(2) 次の文を読み、あとのI・IIの問いに答えなさい。

印章は、信用を表す標章として重要な役割を果たします。秦時代には、①が印の規格を定めて制度化します。更に、漢時代には、役職や姓名など、おびただしい印が作られ、印の典型となりますが、②の印が中心で、常に身につけて身分証明として機能しました。紙が普及していなかったこの時代は、泥土に押し、③として用いました。

^④清時代に入ると、個性豊かな名家が続々と現れ、日本にも、中国の影響を受けた名手が登場しました。

I ① ③に当てはまる語句の組み合わせとして、適切なものを、

次のa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|----|
| a | ① | 始皇帝 | ② | 金製 | ③ | 標章 |
| b | ① | 乾隆帝 | ② | 錫製 | ③ | 封印 |
| c | ① | 乾隆帝 | ② | 陶製 | ③ | 認印 |
| d | ① | 始皇帝 | ② | 銅製 | ③ | 封印 |
| e | ① | 徽宗 | ② | 銅製 | ③ | 落款 |

II 傍線部^④に当てはまらない人物を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

エ

- a 徐三庚
- b 董其昌
- c 趙之謙
- d 吳熙載
- e 鄧石如

2 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 独力で法帖類の刊行を行うなどして、古法の探究と普及を行った「現代書の父」と呼ばれた比田井天来の門下からは、漢字書道にとどまらず、漢字仮名交じりの書、少字数書、前衛書を志す作家が輩出され、今日の書道界に大きな功績をもたらした。この門下生のうち、高知県出身の書家を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- a 上田桑鳩
- b 大澤雅休
- c 金子鷗亭
- d 桑原翠邦
- e 手島右卿

(2) 『書之研究』を発行した川谷尚亭に学び、全国初の公立書道美術館の創設に尽力した人物を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

- a 南不乗
- b 西川寧
- c 林錦洞
- d 榊莫山
- e 沖六鵬

3 次のⅠ・Ⅱの文章は、古典の大意の一部を示したものである。その古典作品名をそれぞれあとのa～eから一つずつ選びなさい。

Ⅰ 金を溶かすような炎天の時でも、蒸し暑い感じはせず、微風が静かに吹き、すがすがしい涼気があるのに至っては、まことに体を休めるよいところであり、まことに心を養うのに優れた地である。その素晴らしさは漢の甘泉宮でさえもかなわないことでしょう。

キ

- a 書譜
- b 化度寺碑
- c 孟法師碑
- d 雁塔聖教序
- e 九成宮醴泉銘

Ⅱ ここに乾元元年戊戌の歳、九月三日、第十三番目の叔父で、銀青光祿大夫・使持節蒲州諸軍事・蒲州刺史・上輕車都尉・丹楊県開国侯である顔真卿は、御神酒やいろいろな供物を供えて、亡き姪の霊を祭る。

ク

- a 争坐位文稿
- b 祭姪文稿
- c 李思訓碑
- d 玄秘塔碑
- e 蘭亭序

